

第三者評価結果（乳児院）

1 養育・支援

(1) 養育・支援の基本		第三者 評価結果
①	子どものこころによりそいながら、子どもとの愛着関係を育んでいる。	a
②	子どもの遊びや食、生活体験に配慮し、豊かな生活を保障している。	b
③	子どもの発達を支援する環境を整えている。	b
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点) 愛着関係の形成と担当養育制に取り組み、個別的な時間を持つことが出来るなど心の安定に努めている。居室は明るく衛生的で広く、日々の生活においても個々の発達に応じた支援をしながら、季節の行事や誕生日会・お楽しみ会を行っている。子どもへの言葉かけなども適切な言葉で伝えられるよう安心した支援と環境づくりに努めている。</p>		

(2) 食生活		第三者 評価結果
①	乳幼児に対して適切な授乳を行っている。	a
②	離乳食を進めるに際して十分な配慮を行っている。	b
③	食事がおいしく楽しく食べられるよう工夫している。	a
④	栄養管理に十分な注意を払っている。	a
(3) 衣生活		
①	気候や場面、発達に応じた清潔な衣類を用意し、適切な衣類管理を行っている。	a
(4) 睡眠環境等		
①	乳幼児が十分な睡眠をとれるように工夫している。	a
②	快適な睡眠環境を整えるように工夫している。	a
③	快適な入浴・沐浴ができるようにしている。	a
(5) 発達段階に応じた支援		
①	乳幼児が排泄への意識を持てるように工夫している。	a
②	発達段階に応じて乳幼児が楽しく遊べるように工夫している。	a
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点) 食事は発達段階に応じた支援をしており、乳児の成長に応じた授乳計画を立てゆったりとした気持ちで授乳を行っている。離乳食は栄養士・調理員・保育士で話し合い発育の状況により工夫された調理を提供し、アレルギー等にも配慮している。さらに園庭で栽培された野菜や果物に触れ、また、食する楽しさに取り組んでいる。入浴は毎日適温と清潔に徹し、楽しみある家庭的さをあじわえるよう職員が一緒に入り支援している。</p>		

(6) 健康と安全		第三者 評価結果
①	一人一人の乳幼児の健康を管理し、異常がある場合には適切に対応している。	a
②	病・虚弱児等の健康管理について、日常生活上で適切な対応策をとっている。	a
③	感染症などへの予防策を講じている。	a
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点) 年2回の定期健診や年齢に応じた予防接種は嘱託医で受診し、乳幼児健診等は市の健診を受診している。日頃の健康管理として毎日2回以上検温を実施し、入室・食事介助前・オムツ交換後など職員の手洗いの徹底と面会者にも手洗いの励行を促している。感染症対策としてアルコール消毒液と塩素系消毒液を常備し使用するなど予防に徹し、さらにSIDSについて注意喚起するなど健康と安全管理に努めている。</p>		

(7) 心理的ケア	第三者 評価結果
① 乳幼児と保護者に必要な心理的支援を行っている。	b
(特に評価が高い点、改善が求められる点) 心理的ケアが必要となる乳幼児の支援については、必要に応じて外部の専門家の支援や助言を得ることや、また児童相談所の助言を仰ぎ、適切な対応が出来るように努めている。	

(8) 継続性とアフターケア	第三者 評価結果
① 措置変更又は受入れを行うに当たり、継続性に配慮した対応を行っている。	a
② 家庭引き取りに当たって、子どもが家庭で安定した生活を送ることができるよう家庭復帰の支援を行っている。	b
③ 子どもが安定した生活を送ることができるよう退所後の支援を行っている。	b
(特に評価が高い点、改善が求められる点) 措置変更に当たっては、子どもの安定が図られるよう、児童相談所や関係機関と連携を取り・変更先へ記録や情報を提供し、安定したスムーズな生活に入れるよう努めている。また退所後のケアに当たっては、地域での支援ネットワークの構築など、児童相談所と連携を図っている。	

2 家族への支援

(1) 家族とのつながり	第三者 評価結果
① 児童相談所と連携し、子どもと家族との関係調整を図ったり、家族からの相談に応じる体制づくりを行っている。	a
② 子どもと家族の関係づくりのために、面会、外出、一時帰宅などを積極的に行っている。	a
(2) 家族に対する支援	
① 親子関係の再構築等のために家族への支援に積極的に取り組んでいる。	b
(特に評価が高い点、改善が求められる点) 子どもと家族との関係調整の構築のため、児童相談所と連携を密にし子どもの意向と家庭の状況を勘案して、児童相談所の了解のもと面会や外出・外泊を通じ関係性の再構築に努めている。また、面会・外出・外泊前後の子どもの様子を注意深く観察して、記録化を図っている。	

3 自立支援計画、記録

(1) アセスメントの実施と自立支援計画の策定	第三者 評価結果
① 子どもの心身の状況や、生活状況を把握するため、手順を定めてアセスメントを行い、子どもの個々の課題を具体的に明示している。	b
② アセスメントに基づいて子ども一人一人の自立支援計画を策定するための体制を確立し、実際に機能させている。	b
③ 自立支援計画について、定期的実施状況の振り返りや評価と計画の見直しを行う手順を施設として定め、実施している。	b
(2) 子どもの養育・支援に関する適切な記録	
① 子ども一人一人の養育・支援の実施状況を適切に記録している。	a
② 子どもや保護者等に関する記録の管理について、規程を定めるなど管理体制を確立し、適切に管理を行っている。	b

③ 子どもや保護者等の状況等に関する情報を職員が共有するための具体的な取組を行っている。	b
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点)</p> <p>子どもの心身状況や生活状況等の把握や児童相談所の課題について、毎月の職員会議の協議により自立支援計画(案)が策定されているが、定期的な見直しに努めることを望みたい。各種記録は、「個人情報取り扱いについて」を重点項目に揚げ、日常的に注意喚起に努めて適切に管理されている</p>	

4 権利擁護

(1) 子どもの尊重と最善の利益の考慮	第三者 評価結果
① 子どもを尊重した養育・支援についての基本姿勢を明示し、施設内で共通の理解を持つための取組を行っている。	a
② 社会的養護が子どもの最善の利益を目指して行われることを職員が共通して理解し、日々の養育・支援において実践している。	a
③ 子どものプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備し、職員に周知するための取組を行っている。	b
(2) 保護者の意向への配慮	
① 保護者の意向を把握する具体的な仕組みを整備し、その結果を踏まえて、養育・支援の内容の改善に向けた取組を行っている。	b
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点)</p> <p>平成25年度開設の施設で、経験のない職員がほとんどである。しかし「乳児院倫理綱領」「より適切なかかわりをするためのチェックポイント」「規程」「マニュアル」等を活用し、日々子どもを尊重した養育・支援に努力し、処遇技術の向上に努めている。保護者の意向を基に養育・支援を行っているが、すべての保護者と面会が出来てはいないが、保護者の状況によりやむを得ないと思われる。</p>	

(3) 入所時の説明等	第三者 評価結果
① 保護者等に対して、養育・支援の内容を正しく理解できるような工夫を行い、情報の提供を行っている。	a
② 入所時に、施設で定めた様式に基づき養育・支援の内容や施設での約束ごとについて保護者等にわかりやすく説明している。	a
(4) 保護者が意見や苦情を述べやすい環境	
① 保護者が相談したり意見を述べたりしたい時に相談方法や相談相手を選択できる環境を整備し、子どもに伝えるための取組を行っている。	b
② 苦情解決の仕組みを確立し、保護者等に周知する取組を行うとともに、苦情解決の仕組みを機能させている。	b
③ 保護者等からの意見等に対して迅速に対応している。	
(5) 被措置児童等虐待対応	
① いかなる場合においても体罰や子どもの人格を辱めるような行為を行わないよう徹底している。	a
② 子どもに対する暴力、言葉による脅かし等の不適切なかかわりの防止と早期発見に取り組んでいる。	a
③ 被措置児童等虐待の届出・通告に対する対応を整備し、迅速かつ誠実に対応している。	b
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点)</p> <p>来院出来る保護者にはパンフレットを用いて施設の概要を説明し、施設の見学をしてもらっている。来院が不可能な保護者には児童相談所から説明をもらっている。乳児院に対する意見・苦情等に対する環境、体制は確立している。被措置児童等に対する虐待に対しては、マニュアルはもとより事業計画の中で重点項目に揚げ、処遇計画に全職員に対する周知徹底及び遵守事項として、具体例をあげて日常的に注意喚起をしている。</p>	

5 事故防止と安全対策

	第三者 評価結果
① 事故、感染症の発生時など緊急時の子どもの安全確保のために、組織として体制を整備し、機能させている。	a
② 災害時に対する子どもの安全確保のための取組を行っている。	b
③ 子どもの安全を脅かす事例を組織として収集し、要因分析と対応策の検討を行い、子どもの安全確保のためにリスクを把握し対策を実施している。	a
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点)</p> <p>事故防止と安全対策について安全管理マニュアル、感染症対応マニュアル等各種マニュアルを整備し、事業計画の重点事項に揚げ、職員に周知徹底を図っている。避難訓練も毎月行動目標を設定し、より実態に既した訓練を実施している。</p>	

6 関係機関連携・地域支援

	第三者 評価結果
(1) 関係機関等の連携	
① 施設の役割や機能を達成するために必要となる社会資源を明確にし、児童相談所など関係機関・団体の機能や連絡方法を体系的に明示し、その情報を職員間で共有している。	b
② 児童相談所等の関係機関等との連携を適切に行い、定期的な連携の機会を確保し、具体的な取組や事例検討を行っている。	b
(2) 地域との交流	
① 子どもと地域との交流を大切にし、交流を広げるための地域への働きかけを行っている。	b
② 施設が有する機能を地域に開放・提供する取組を積極的に行っている。	b
③ ボランティア受入れに対する基本姿勢を明確にし、受入れについての体制を整備している。	b
(3) 地域支援	
① 地域の具体的な福祉ニーズを把握するための取組を積極的に行っている。	b
② 地域の福祉ニーズに基づき、施設の機能を活かして地域の子育てを支援する事業や活動を行っている。	a
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点)</p> <p>児童相談所、市町の関係部署等との連携はもちろんのこと、乳幼児の状況に対応した社会資源の情報を職員間で共有され、活用している。乳児院は感染症等のリスクが高いため、地域交流には困難が伴うなか、実習生の受け入れ、民生、児童委員等の施設見学は行っている。保護者の中には施設の利用を知られたくないという思いもあり、地域交流は制限されている現状である。</p>	

7 職員の資質向上

	第三者 評価結果
① 組織として職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	b
② 職員一人一人について、基本姿勢に沿った教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取組が行われている。	a
③ 定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行い、次の研修計画に反映させている。	b
④ スーパービジョンの体制を確立し、施設全体として職員一人一人の援助技術の向上に努めている。	b

(特に評価が高い点、改善が求められる点)
 開設1年半程の施設で経験の浅い職員が多いため、養育・支援に関する知識、援助技術の習得に院内研修を始め県内、外の関係機関が実施する研修に積極的に参加をし、職員の資質の向上に努めている。受講後報告会等を実施し、研修内容の共有化に努めている。
 研修成果の評価、分析は行っているが、次の研修計画に反映するところまでは至っていない。

8 施設の運営

(1) 運営理念、基本方針の確立と周知		第三者 評価結果
①	法人や施設の運営理念を明文化し、法人と施設の使命や役割が反映されている。	a
②	法人や施設の運営理念に基づき、適切な内容の基本方針が明文化されている。	a
③	運営理念や基本方針を職員に配布するとともに、十分な理解を促すための取組を行っている。	a
④	運営理念や基本方針を保護者等に配布するとともに、十分な理解を促すための取組を行っている。	a
(2) 中・長期的なビジョンと計画の策定		
①	施設の運営理念や基本方針の実現に向けた施設の中・長期計画が策定されている。	b
②	各年度の事業計画は、中・長期計画の内容を反映して策定されている。	b
③	事業計画を、職員等の参画のもとで策定されるとともに、実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われている。	b
④	事業計画を職員に配布するとともに、十分な理解を促すための取組を行っている。	b
⑤	事業計画を保護者等に配布するとともに、十分な理解を促すための取組を行っている。	c
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点) 法人及び施設の理念はリーフレットや事業計画等に記載され明文化されており、事業計画や処遇方針等を職員に配布のうえ、月1回の職員会議で確認している。保護者には児童相談所を通してパンフレットを配布している。 中・長期的なビジョンは施設開設間もないため作成していないが、地域の子育て支援拠点として機能するよう体制整備を図っている。事業計画は前年度の事業実績を職員に説明し、その結果をもとに毎年度重点項目を定め、事業計画を作成して職員に配布している。</p>		

(3) 施設長の責任とリーダーシップ		第三者 評価結果
①	施設長は、自らの役割と責任を職員に対して明らかにし、専門性に裏打ちされた信念と組織内での信頼をもとにリーダーシップを発揮している。	a
②	施設長自ら、遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行い、組織全体をリードしている。	a
③	施設長は、養育・支援の質の向上に意欲を持ち、組織としての取組に十分な指導力を発揮している。	a
④	施設長は、経営や業務の効率化と改善に向けた取組に十分な指導力を発揮している。	a
(4) 経営状況の把握		
①	施設運営をとりまく環境を的確に把握するための取組を行っている。	a
②	運営状況を分析して課題を発見するとともに、改善に向けた取組を行っている。	a
③	外部監査(外部の専門家による監査)を実施し、その結果に基づいた運営改善が実施されている。	b

(特に評価が高い点、改善が求められる点)
 施設長は、永年の児童福祉行政の経験を活かして自らの役割と責任を明確にし、職員に対してタイムリーな話題や配慮事項等随時掲示や配布し、自らの考えや施設の目指すべき方向性について職員に説明している。施設運営については経営や業務の効率化に向けた整備に取り組んでいる。外部監査については、法人の税理士に依頼しているが今後外部監査の実施に向けた検討を期待する。

(5) 人事管理の体制整備		第三者 評価結果
①	施設が目標とする養育・支援の質を確保するため、必要な人材や人員体制に関する具体的なプランが確立しており、それに基づいた人事管理が実施されている。	b
②	客観的な基準に基づき、定期的な人事考課が行われている。	c
③	職員の就業状況や意向を定期的に把握し、必要があれば改善に取り組む仕組みが構築されている。	a
④	職員処遇の充実を図るため、福利厚生や健康を維持するための取組を積極的に行っている。	a

(6) 実習生の受入れ		第三者 評価結果
①	実習生の受入れと育成について、基本的な姿勢を明確にした体制を整備し、効果的なプログラムを用意する等積極的な取組をしている。	a

(特に評価が高い点、改善が求められる点)
 人事管理は法人理事長、施設長が中心に行われているが、必ずしも十分な人事管理がなされておらず、定期的な人事考課も実施されていない。職員の意向については、日常的に職員に話しかけを行うとともに職員個別面談を年1回実施し、職員の意向や要望等の把握に努めている。実習生の受入れについては、学校との連携を図り積極的に受入れを行っている。

(7) 標準的な実施方法の確立		第三者 評価結果
①	養育・支援について標準的な実施方法を文書化し、職員が共通の認識を持って行っている。	a
②	標準的な実施方法について、定期的に検証し、必要な見直しを組織的に実施できるよう仕組みを定め、検証・見直しを行っている。	a

(8) 評価と改善の取組		第三者 評価結果
①	施設運営や養育・支援の内容について、自己評価、第三者評価等、定期的に評価を行う体制を整備し、機能させている。	a
②	評価の結果を分析し、施設として取り組むべき課題を明確にし、改善策や改善実施計画を立て実施している。	a

(特に評価が高い点、改善が求められる点)
 標準的な実施方法についてはマニュアルを基に職員が共通の認識を持って養育・支援が出来るよう施設長、職員で検証し、協議を行い見直しを実施している。自己評価については評価担当者を中心に定期的に実施し、その結果等を分析して改善策や改善に取り組んでいる。